BIO tech 2013 内

アカデミック フォーラム プログラム　聴講無料! 研究成果発表会場へお越しください

発表タイトル	
ポスター展示ブースNo.	機関名・役職・氏名

※ブース位置は会場案内図をご確認ください

5月8日[水]

会場	ACA-1	ACA-2	ACA-3	ACA-4	ACA-5	ACA-6	ACA-7	ACA-8
コース	神経 コース	イメージング コース	医薬・診断薬シーズ コース	医療・診断デバイス コース	研究ツール コース	研究シーズ コース	食品 コース	創薬ツール コース
12:50▽13:20	Aβ産生を特異的に抑制するペプチド H-15 同志社大学 准教授 舟本 聡	亜鉛イオン応答型新規二波長性蛍光センサーの開発とその展開 I-09 東京薬科大学 助教 小林 豊晴	ウイルス増殖を抑止する新規薬剤の同定 H-29 長崎大学 准教授 久保 嘉匡	開閉を制御可能なタンパク質性ナノカプセルのDrug Delivery Systemへの応用 C-13 神奈川工科大学 教授 小池 あゆみ	3Dレーザー計測技術を用いた酵素活性のサブナノ分析 J-10 (独)海洋研究開発機構 チームリーダー 出口 茂	微生物を利用した金属リサイクル技術の開発 C-20 東京工科大学 助教 鈴木 義規	海洋性の微生物資源の利用 E-10 高知大学 特任講師 寺本 真紀	膜タンパク質機能解析のための人工細胞膜チップ H-27 (財)神奈川科学技術アカデミー サブリーダー 大嶋 寿久
13:30▽14:00	自閉症早期診断マーカーとしての血清中ASPEC1値の検討 J-06 (独)理化学研究所 チームリーダー 吉川 武男	cAMPリアルタイムイメージング H-14 同志社大学 准教授 齋藤 直人	海洋生物が生産する有機リン化合物の探索と合成 E-12 高知大学 特任講師 片岡 正典	ユビキタス・マイクロ化学デバイスとアレルゲンタンパク質検査への応用 A-04 芝浦工業大学 准教授 長谷川 忠大	質量差6のトリプルタグによるアミノ基含有物質の精確な定量 F-04 滋賀医科大学 准教授 石田 哲夫	分子認識材料を利用した生体物質の検出、分離 G-04 九州大学大学院 教授 三浦 佳子	ニュートリゲノミクスに基づいた食品機能性評価 H-26 (財)神奈川科学技術アカデミー 常勤研究員 張崎 文夏	不可逆的な酵素阻害剤評価システムの開発と薬剤スクリーニングへの応用 C-14 神奈川工科大学 准教授 飯田 泰広
14:10▽14:40	口腔顔面領域に発症する神経障害性疼痛の神経メカニズム H-04 日本大学 教授 岩田 幸一	バイオメカニクスについての研究 C-04 首都大学東京 教授 藤江 裕道	新規クルクミン誘導体の抗がん作用一臨床応用を目指した展開一 C-08 秋田大学大学院 教授 柴田 浩行	複雑な混合物における変化や異常の検出を可能とする新規診断技術 G-01 京都大学 教授 小池 薫	遺伝子導入による心筋症疾患モデルマウスの解析手技 G-11 (独)医薬基盤研究所 主任研究員 鈴木 治	セラミド関連分子をターゲットとした遺伝子改変動物の利用 C-10 麻布大学 教授 山下 匡	桑と生活習慣病 A-09 昭和薬科大学 准教授 小野寺 敏	モノクローナル抗体の応用:免疫疾患モデル作成とFabによる免疫疾患の制御 F-03 神戸薬科大学 教授 吉野 伸
14:50▽15:20	新規抗鬱薬:セビアプテリンによる脳内モノアミン合成促進 H-02 日本大学 兼任講師 長谷川 宏幸	動きに強いベイズX線CTアルゴリズム B-10 京都大学 助教 前田 新一	低分子親和性ペプチドリガンドによる抗体の精製、検出技術への展開 J-13 鹿児島大学 教授 伊東 祐二	マイクロフルイディクスを用いた神経軸索伸長制御の細胞引張試験への応用 G-03 首都大学東京 助教 中嶋 浩康	遺伝子シナジーを作動原理とする抗がん治療薬品の探索 C-06 首都大学東京 教授 廣田 耕志	遺伝子シナジーを作動原理とする抗がん治療薬品の探索 C-06 首都大学東京 教授 廣田 耕志	L-ヒドロキシプロリンの酵素学的定量法 J-01 愛媛大学 准教授 渡辺 誠也	無血清培地を用いたヒトiPS細胞を制御する化合物の探索 G-13 (独)医薬基盤研究所 特任研究員 木根原 匡希
15:30▽16:00	高い脳神経疾患改善作用を示す新規2−デセン酸誘導体の開発 D-11 岐阜薬科大学 教授 古川 昭栄	マイクロ波マンモグラフィ I-01 静岡大学 教授 桑原 義彦	超高速創薬技術:新型マイクロアレイ「MMV」を用いたペプチドリード開発 D-01 埼玉大学 教授 西垣 功一	誘導マーカーとしての血清可溶性(プロ)レニン受容体 J-02 香川大学 教授 西山 成	融合プロテオミクスによる異常病態シグナル検出システムの開発と応用 I-15 熊本大学 准教授 荒木 令江	幹細胞由来靭帯組織作成による整形外科、歯科分野における靭帯移植 J-15 厚生労働省難治性疾患克服研究事業(戸山芳昭班) 久留米大学 助教 津留 美智代	薬用紫蘇に関する地域遺伝資源の再評価と機能性素材としての利用 C-23 近畿大学 講師 堀端 章	◆◆◆
16:10▽16:40	ヒダントイン部を有する新規化合物群の合成研究 C-15 神奈川工科大学 准教授 山口 淳一	医療に展開可能な材料、マイクロマシンおよびセンシング技術の開発 J-11 和歌山大学 教授 橋本 正人	microRNA標的遺伝子の標的特異的なプロモーターメチル化 A-05 中央大学 教授 田口 善弘	うろこコラーゲンを用いた高い細胞親和性バイオマテリアルの創製 A-02 東京工業大学 准教授 生駒 俊之	赤外自由電子レーザー照射によるアミロイド線維の分解 A-01 東京理科大学 教授・センター長 築山 光一	新規インドール類の合成と細胞死抑制活性の評価 K-20 岡山大学大学院 准教授 佐藤 あやの	桑葉抽出物の糖質消化酵素阻害作用を利用した血糖を上昇させない食品の開発 I-08 長崎県立大学 名誉教授 奥 恒行	認知症治療に向けた、病原性タウ蛋白質の凝集抑制への熱ショック因子の応用 G-14 山口大学 講師 林田 直樹

5月9日[木]

コース	がん コース	医薬・診断薬シーズ コース	医薬・診断薬シーズ コース	医薬・診断薬シーズ コース	医療・診断デバイス コース	再生医療 コース	食品 コース	創薬ツール コース
10:50▽11:20	消化器癌に対する新規分子標的治療法の開発:FGFR-2とnestinについて A-14 日本医科大学 准教授 石渡 俊行	抗線維化ペプチドを用いた糖尿病腎症-腎線維化に対する治療薬の開発 F-12 金沢医科大学 講師 金崎 啓滋	mRNA輸送を介した効率的タンパク質生産法 B-11 京都大学 准教授 増田 誠司	モノアミントランスポーターの代謝・発現を標的としたうつ病診断キット開発 E-06 名城大学 特任教授 鍋島 俊隆	精子幹細胞から精子を産生できる組織片培養法 H-12 横浜市立大学 准教授 小川 毅彦	ヒアルロン酸を基材としたEGFとビタミンC誘導体含有創傷被覆材の開発 B-02 北里大学 教授 黒柳 能光	健康長寿に働く生理機能物質の探索と応用 〜長寿遺伝子と健康〜 E-03 筑波大学 准教授 坂本 和一	蛍光カルシウムセンサータンパクG-CaMPを組み込んだモデル生物の創薬応用 D-02 埼玉大学 教授 中井 淳一
11:30▽12:00	既存医薬品を用いたGSK3β阻害による新規膵癌治療 F-13 金沢医科大学 講師 島崎 猛夫	くっつける技術 〜水中でどこにでも貼れるナノ生体材料の開発〜 C-24 東海大学 講師 岡村 陽介	非天然アミノ酸導入技術を利用したタンパク質の部位特異的PEG化法の開発 G-10 北陸先端科学技術大学院大学 教授 芳坂 貴弘	ウイルス由来ペプチドの自己集合による合成ウイルス殺の創製 C-30 鳥取大学 教授 松浦 和則	超微細マニピュレーションシステム A-06 慶應義塾大学 准教授 桂 誠一郎	幹細胞の標準化・品質評価に有効な抗体チップ分析技術 H-23 広島大学 教授 加藤 功一	日本で栽培されている高アミノ酸含有茶'白葉茶'の魅力 I-03 静岡大学 助教 一家 崇志	有機リチウム反応の高度制御に基づくフローマイクロ合成 D-02 京都大学 助教 永木 愛一郎
12:10▽12:40	癌などに特異的なT細胞の抗原受容体を短期間に網羅的・確実に取得する方法 B-13 富山大学 准教授 岸 裕幸	NASHの発症・進展における新規ターゲットとしてのToxic AGEs(TAGE) F-11 金沢医科大学 教授 竹内 正義	可溶型アミロイドβ前駆体タンパク質770は急性冠症候群のマーカーである E-16 (独)理化学研究所 副チームリーダー 北爪 しのぶ	レクチン固定化蛍光ナノスフェアを用いた大腸がんの内視鏡イメージング H-08 摂南大学 教授 佐久間 信至	PVDF膜を用いた新しい膜電気泳動法の可能性 E-07 (独)産業技術総合研究所 研究グループ長 亀山 昭彦	くっつけない技術 〜V型コラーゲンα3鎖を用いて組織・臓器癒着を防ぐ〜 C-26 東海大学 講師 住吉 秀明	鋳型ポリマーを用いた化学センサの開発 K-02 大阪府立大学大学院 教授 長岡 勉	脂質過酸化物の産生抑制を標的とした低血糖脳症治療薬スクリーニング技術 D-09 新潟大学 准教授 下畑 享良
12:50▽13:20	Gefitinib耐性肺癌細胞内においてEGFR endocytosisを制御するSNX1の新機能 G-06 九州大学大学院 准教授 西村 行生	HTLV-1関連脊髄症(HAM)の新規治療薬としてのプロスルチアミン H-30 長崎大学 准教授 中村 脩文	超高速光DNA・RNA 操作法の開発 G-09 北陸先端科学技術大学院大学 教授 藤本 健造	薬理学的Wntシグナル制御による胚発生および分化を操作する方法 A-11 岩手医科大学 講師 西谷 直之	テラヘルツ波分光法を用いた細胞中の水分子のダイナミクス評価 B-09 京都大学 准教授 小川 雄一	くっつける技術 〜コラーゲン線維束を用いた人工腱形成〜 C-25 東海大学 准教授 葛巻 徹	食品系天然物由来の抗病原菌物質 A-08 岐阜医療科学大学 講師 永井 慎	自転公転粉砕機を用いた難水溶性化合物のナノ粒子化 H-09 摂南大学 教授 橋本 直文
13:30▽14:00	癌の正常細胞化を誘導する活性分子の生体応用 C-28 鳥取大学 准教授 三浦 典正	チャーガの発毛・育毛効果 J-03 徳島大学大学院 准教授 山下 菊治	オフ・ターゲット効果の回避を目指した化学修飾二本鎖RNAの開発 D-15 岐阜大学 教授 北出 幸夫	経鼻ワクチンによる歯周病および動脈硬化治療法 H-07 日本大学 准教授 大口 純人	標的分子の多様性を拡張するペプチドアプタマー取得のためのcDNA display法 D-03 埼玉大学 准教授 根本 直人	細胞ファイバーによる生体組織構築 F-06 東京大学 助教 尾上 弘晃	◆◆◆	構造インフォマティクスに基づく実用的なインシリコスクリーニング技術 J-05 (独)理化学研究所 チームリーダー/基盤ユニットリーダー 本間 光貴
14:10▽14:40	血液がん治療用heptamer型sgRNAの探索 F-02 新潟薬科大学 教授 梨本 正之	自己の体内で自動的にできる皮下組織成分からなる人工角膜 H-06 日本大学 助教 滝山 直昭	抗アレルギー活性を有する新規化合物 D-09 岐阜薬科大学 准教授 田中 宏幸	バクテリアのコミュニケーション機構制御による病原性対策 E-01 宇都宮大学大学院 工学部長・工学研究科長、教授 池田 率	歩行障害犬とオーナーのための歩行補助器具の開発 K-01 大阪府立大学大学院 教授 大橋 文人	燐酸カルシウム顆粒に骨誘導能を発揮させ骨再建を可能にするCasing Method A-13 東京医科歯科大学 非常勤講師 小木曽 誠	カーボンナノチューブセンサーの医療、食品分野への応用 C-17 東京工科大学 教授 後藤 正男	レーザーにより1時間で成分スクリーニング!生体濃度での生理活性 G-05 九州大学大学院 准教授 小名 俊博
14:50▽15:20	CHPナノゲルDDSを融合した次世代がん長鎖ペプチドワクチン I-06 三重大学大学院 教授 珠玖 洋	新規生体適合性高分子のDNA一分子修飾によるin vivo遺伝子導入 C-05 首都大学東京 准教授 朝山 章一郎	男性不妊症遺伝子診断と治療薬の開発 D-08 長崎国際大学 准教授 田中 宏光	タグ付き単鎖抗体を用いる低コストかつ高感度な免疫診断法 C-22 京都工芸繊維大学 助教 阪田 陽一	ヒト触感の客観データ計測法による皮膚・動脈の特性評価とテクノロジー展開 A-07 東京農工大学 准教授 佐久間 淳	幹細胞を用いたパーキンソン病の再生医療と分子イメージング J-07 (独)理化学研究所 グループディレクター 尾上 浩隆	人工DNA結合タンパク質を用いたウイルス耐病性植物の開発 H-22 岡山大学大学院 教授 世良 貴史	北里微生物資源ライブラリー B-05 北里大学 教授 高橋 洋子
15:30▽16:00	抗体を用いたプロテオミクスによる癌の診断並びに予後予測マーカーの獲得 B-03 北里大学 助教 長塩 亮	ホウレンソウより分離・構造決定された高い活性を有する抗アレルギー性物質 J-12 県立広島大学 教授 武藤 徳男	分子インプリントナノ粒子と金ナノ粒子を用いた高感度・高選択的センシング K-03 神戸大学 教授 竹内 俊文	JCRB生物資源バンクの新展開 G-12 (独)医薬基盤研究所 主幹研究員 佐藤 元信	流動キャピテーションによる口腔洗浄 D-06 東北大学 教授 祖山 均	幹細胞を用いたパーキンソン病の再生医療と分子イメージング J-07 (独)理化学研究所 グループディレクター 尾上 浩隆	生活習慣病予防改善ペプチドの特定・網羅解析・作用機構解析・高機能化戦略 D-13 岐阜大学 シニア教授・教授 長岡 利	難病疾患のヒト化マウスモデルの開発 I-05 三重大学 教授 ガバザリ エステバン
16:10▽16:40	化学物質の健康影響を評価するための研究支援ツールHEALS B-07 (独)国立環境研究所 室長 曽根 秀子	2次元SPRセンサによるプローブ不要の細胞応答イメージングと薬物センシング B-14 富山大学 教授 篠原 實明	エイズ及びC型肝炎治療薬を目指したアクチノヒビン修飾体 K-05 いわき明星大学 客員教授 田中 晴雄	新しい高感度DNAメチル化検出法(MSE)を用いた膵液解析による膵臓癌の診断 J-14 鹿児島大学 教授 米澤 傑	高波長分解能マルチプローブ検出システム D-07 (独)物質・材料研究機構 nims特別研究員 根城 均	新規ペプチドベクターによるウイルスフリーiPS細胞作成技術開発 A-10 (独)国立国際医療研究センター 部長 石坂 幸人	ラットにおける水溶性珪素(umo)の免疫効果 K-04 玉川大学 研究生 寺沢 充夫	イオンビーム照射技術による高分子材料への生体適合性の付与 J-04 (独)理化学研究所 副チームリーダー 鈴木 嘉昭

5月10日[金]

コース	免疫・ワクチン コース	医薬・診断薬シーズ コース	イメージング/医療・診断デバイス コース	医療・診断デバイス コース	再生医療 コース	糖・脂質/植物 コース	創薬ツール コース
10:50▽11:20	リン脂質代謝酵素に着目した病態モデルの構築 I-10 東京薬科大学 助教 佐藤 礼子	スギ花粉アレルゲンのT細胞エピトープ融合ペプチド遺伝子の構築 G-07 高知工科大学 教授 榎本 恵一	新生物活性天然物を産生する海洋微生物の探索 E-11 高知大学 特任助教 ウラノバ ダナ	加速器・分子イメージングによるバイオ健康科学への応用 D-05 東北大学 センター長 谷内 一彦	診断医療・創薬・環境モニタリングに向けた半導体バイオセンシング技術 F-07 東京大学 准教授 坂田 利弥	遺伝子発現抑制の光誘導法 H-19 岡山大学大学院 教授 大槻 高史	創薬を指向したホウ素修飾核酸およびαリポプラノシドの効率的合成法の開発 D-14 岐阜大学 准教授 岡 夏央	3Dプリンタを利用した分子模型、科学模型の開発と普及 G-08 北陸先端科学技術大学院大学 准教授 川上 勝
11:30▽12:00	抗体工学による癌分子標的治療薬シーズの開発研究 E-05 静岡県立大学 教授 伊藤 邦彦	新しい作用機序に基づく抗炎症剤(MT1抗炎症剤) F-08 聖マリアンナ医科大学 准教授 岡本 一起	抗ガン、抗感染症、抗アルツハイマー活性を有する新規医薬候補分子 H-18 岡山大学大学院 准教授 井口 勉	セラミックスによる高分解能放射線イメージング技術 C-02 首都大学東京 准教授 諏訪 浄光	生体適合性材料のポテンシャルを生かす加工・設計技術 I-16 熊本大学 教授 中西 義孝	哺乳動物以外に由来する生体分子の細胞培養への利用 C-07 福井大学 准教授 寺田 聡	カイコウオオゾコエビが生産する新規セルラーゼ J-09 (独)海洋研究開発機構 主任研究員 小林 英城	レポーター遺伝子を用いた簡便なスプライシング解析法 C-12 麻布大学 准教授 村山 洋
12:10▽12:40	人工ヒト癌幹細胞モデルを用いた革新的診断、治療等の医療基盤技術の創出 H-11 横浜市立大学 教授 梁 明秀	マクロファージ関連疾患の制御を目指した酵価系の確立 H-13 同志社大学 教授 市川 寛	Aβ1-42凝集形成時に特異的各種モノクローナル抗体のパネル化と病因研究 H-05 日本大学 教授 神野 英毅	千葉大学における医工連携研究 -生体物性解析から診断・治療機器開発まで- E-02 千葉大学 センター長 伊藤 公一	心臓と血管の血圧反射機能を独立に定量診断できる脈波健康管理装置 D-04 東北大学 教授 山家 智之	炎症制御を主体とした皮膚創傷治癒に効果のある核酸医薬の作成 H-28 長崎大学 講師 森 亮一	電気化学検出を活用する脂質代謝関連疾患の診断法開発 I-14 東京薬科大学 准教授 袴田 秀樹	口腔内細菌叢あるいは腸内細菌叢の違いをバイオマーカーとした疾患の検出 C-11 麻布大学 教授 森田 英利
12:50▽13:20	除鉄効果を利用した新規癌治療法の開発 H-17 岡山大学大学院 非常勤講師 大原 利憲	アレルギー疾患におけるゲノムワイド関連解析 E-15 (独)理化学研究所 チームリーダー 玉利 真由美	血中診断マーカータンパク質・ペプチド獲得を目指した包括的なアプローチ B-06 北里大学 センター長 小寺 義男	発光バクテリアシートとその応用 C-19 東京工科大学 教授 佐々木 聡	血管形成に必須のALK1と下流分子TMEM100の発見とそれらシグナル用いた創薬 F-05 奈良県立医科大学 講師 染川 智	革新的3次元軟骨創出法 H-10 横浜市立大学 助手 武部 貴則	原生動物ミドリゾウリムシを利用した新しい糖生産方法 H-24 広島大学 教授 細谷 浩史	慢性疲労症候群における中枢神経系変化の解明と漢方治療の応用 F-09 金沢医科大学 講師 守屋 純二
13:30▽14:00	iPS細胞から作るがん幹細胞モデル H-21 岡山大学大学院 教授 妹尾 昌治	タンパク質実験を支援するソフトウェアの開発 F-01 明治薬科大学 教授 野口 保	難治性副鼻腔炎の治療薬 I-07 名古屋市立大学 准教授 鈴木 元彦	バイオフィルム形成阻害剤スクリーニング用新規デバイスの開発と利用 I-02 静岡大学 教授 金原 和秀	近紫外光に応答する機能性バイオ材料 E-04 神奈川大学／(独)物質・材料研究機構 独立研究者 中西 淳	ラミニン活性ペプチドと高分子多糖を用いた人工基底膜の創製 I-11 東京薬科大学 教授 野水 基義	ペプチドによる迅速かつ簡便な植物遺伝子導入法の開発 E-14 (独)理化学研究所 チームリーダー 沼田 圭司	ジアミノメチレンマロノニトリル型有機触媒を用いた不斉マイケル付加反応 D-10 岐阜薬科大学 准教授 三浦 剛
14:10▽14:40	放射線治療のための併用薬剤のスクリーニング A-12 (独)放射線医学総合研究所 チームリーダー 下川 卓志	抗炎症タンパクチオレドキシン・ハイブリッドプロジェクト G-03 日本バイオストレス研究振興アライアンス 理事長 笠井 淳司	セリンラセマーゼ新規阻害薬の開発 B-12 富山大学 教授 森 寿	多能性幹細胞に由来する生物学的ペースメーカーの開発 C-29 鳥取大学 准教授 白吉 安昭	◆◆◆	ホタル生物発光型長波長発光材料の創製と実用化 A-03 電気通信大学 助教 牧 昌次郎	サンダーライトの新たな展開 C-27 東海大学 部門長 伊東 丈夫	標的分子とタンパク質ライブラリーのペリプラズム発現によるスクリーニング E-08 (独)産業技術総合研究所 主任研究員 木村 忠史
14:50▽15:20	全ゲノム解析を基にしたヘリコバクター・ハイルマニイの診断技術 B-04 北里大学 講師 松井 英則	上皮成長因子受容体(EGFR)の点突然変異配列に由来する抗原ペプチド J-16 久留米大学 准教授 笹田 哲朗	生体分子を標識可能な新規蛍光試薬の開発と実用化 D-16 九州産業大学 教授 磯部 信一郎	細胞内遺伝子発現の解析と制御法の開発 E-13 (独)理化学研究所 専任研究員 阿部 洋	超高速臨床診断・研究を可能にする小型オンチップ遺伝子診断システム H-25 (財)神奈川科学技術アカデミー プロジェクトリーダー 安田 賢二	治療用細胞としての脱分化脂肪細胞(DFAT) H-03 日本大学 教授 松本 太郎	活性酸素生成を指標にした新奇植物免疫活性化剤の超効率的選抜法の開発 C-21 東京工科大学 助教 来須 孝光	ウイルス感染細胞から突出する糸状構造物の応用性 F-10 金沢医科大学 教授 村木 靖

(2013年4月19日 現在) ※敬称略。セッションの録音、写真・ビデオ撮影などは一切禁止させていただきます。都合により発表者、プログラムの内容に変更がある場合もございます。あらかじめご了承ください。